

分野別意見交換会報告書 【民生常任委員会】

開催日時： 令和5年(2023年) 5月21日(日) 午前10時～午前11時42分

開催場所： 箕面市役所 3階 委員会室

団体名： 箕面市医師会 中 祐次 会長、松島 貴志 副会長

箕面市歯科医師会 土居 敏英 会長

箕面市薬剤師会 今西 恵施 副会長、山本 千佳代 副会長

出席議員： (委員長)中井 博幸 (副委員長) 山根 ひとみ (委員) 名手 宏樹、楠 政則、内海 辰郷

傍聴者数： 9名(うち委員外議員7名)

テーマ： 地域医療の在り方について

| 番号 | 項目 | 内容 |
|----|---------------|--|
| 1 | 新市立病院に求める役割 | <ul style="list-style-type: none"> 規模が大きく、魅力ある安心して紹介できる病院 ※診療科の充実 医療従事者のモチベーションの維持及び質の向上 ソフト面の充実(癌治療に際しての口腔診察など) 公立病院としての機能維持 災害時の対応 |
| 2 | 新市立病院と三師会との連携 | <ul style="list-style-type: none"> 新市立病院病院の地域貢献意識の醸成 市立病院・三師会との連携が良好で多職種の連携も進んでいるため継続して欲しい ▶休日診療について <ul style="list-style-type: none"> 現在協議中でほぼ決定しているが、継続していきたい ※設置場所は子ども急病センター内に設置することが望ましい ※休日歯科の運営についても同じ |
| 3 | 指定管理者に求めること | <ul style="list-style-type: none"> 弱者医療(不採算部門)が切り捨てられないようにしてほしい 現市立病院の医療の質を維持してほしい 医療保険センターとの連携 現地域医療室は近隣他市からも評価が高いため、それを維持してほしい |
| 4 | 市及び議会に求めること | <ul style="list-style-type: none"> ▶職員の処遇について <ul style="list-style-type: none"> 離職はモチベーションを低下させ、結果的に医療の質の低下となる 処遇改善に伴う予算確保 現職員の不安を払拭及びモチベーションの維持を行い、離職防止に努める 関係各所での新病院開業に向けての機運醸成 良い病院を創るとの全体意識と団結が必要 現市立病院の職員への説明の徹底・心遣い 牽引力となる中心者が必要 新市立病院開業に伴う市民との対話 ▶その他日常的業務に関して <ul style="list-style-type: none"> 在宅歯科検診の認知度向上 健康福祉部との研修会(コロナ禍での定員減少からの早期拡大) 歯科衛生士(専門職)などの常勤の維持継続 |
| 5 | その他 | <ul style="list-style-type: none"> ▶医薬分業についての課題について <ul style="list-style-type: none"> 成功と考えているし、市民の方の知識が上がっている ▶ジェネリック医薬品について <ul style="list-style-type: none"> 国は80%を目指しているがほぼ達成できている、現在供給問題がある ▶呼吸器の診療について <ul style="list-style-type: none"> 現市立病院では、急性期は受けもらえるが、長期的な疾患の場合は他を紹介 ▶誤嚥性肺炎について <ul style="list-style-type: none"> 成人歯科検診により予防に努めている(以前では30代より実施していた) 口腔機能の維持が有効(80歳で歯が20本以上ある事で、認知症、転倒が減少する) 誤嚥性肺炎は喉の反射の減少により起こるため口腔が清潔であればリスクが減る ▶ウェアラブル端末による、プッシュ型診療システムの構築について <ul style="list-style-type: none"> 先進事例として枚方市で私立病院が運営しているので、予算次第で可能である ▶かかりつけ医の対応が素晴らしい(コロナ禍でのホテル療養中の声掛け) ▶ワクチン接種について <ul style="list-style-type: none"> 地域貢献の意識が強く、緊急時の対応も早く連携も良かった |